

熊本の食はわたし達が守ります。

管理栄養士
平成3年度 短大食物栄養専攻卒業
矢野 圭子さん
日本赤十字社熊本健康管理センター勤務



GRADUATE INTERVIEW

知識と技術を生かし、
チーム医療の一環を担う。

栄養士は、病院や施設などの栄養管理や給食管理が業務の中心。対して管理栄養士は、患者のベッドサイドまで行き、個人に合わせた食事支援を行うことができます。より、専門的な知識と技術を生かすことができます。今後、アメリカで定着している医師と看護師、薬剤師、管理栄養士が一体となったチーム医療が熊本でも取り入れられるようになると思います。そこで大切なのは、在学中に多くの実習を経験し、早く自分に合う勤務先を見つけること、目標となる方と出会うこと、人が好きで、コミュニケーション能力を備えていることなども重要だと思っています。また、インターナショナルな場に立つことも視野に入れ、英語力なども磨いてほしいですね。

管理栄養士
平成13年度 専攻科食物栄養専攻修了
野村 幸代さん
地域医療センター栄養科勤務



GRADUATE INTERVIEW

より深く、具体的で実践的な
授業で念願の資格取得を現実化。

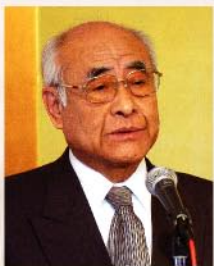
栄養士という仕事を目標にしたのは高校時代。「人間の生活において、食はなくてはならない大事なものの、関わり深いもの」ということを改めて考え、本学で栄養士を目指すことにしました。しかし、卒業を目前にした時、学生時代の時に管理栄養士の受験資格まで取得したいという思いが高まり、専攻科へ進む道を選びました。短大時代より授業の内容はさらに深く、実習はより具体的でより実践的に。栄養士を取得するための研究論文では、夏休みも返上して研究室に通いました。おかげで念願の栄養士の学位も取れました。同じ研究室の仲間との絆が深まり、無事にやり遂げた自分に自信が持てるようになりました。現在、管理栄養士として病院に勤務。学生時代の知識を基礎に、現場に出てからも勉強の毎日です。

■管理栄養士の実績

卒業年度	新卒受験者数	新卒合格者数	専攻科合格率	全国平均合格率
16年度	26	14	53.8	25.3
15年度	23	11	47.8	15.6
14年度	21	12	57.1	19.8
13年度	25	17	68.0	20.9
12年度	28	16	57.1	21.4
11年度	28	15	53.5	22.7
10年度	18	12	66.6	30.1

専攻科の管理栄養士国家試験合格者数は、短大としては九州でもトップクラスであり、また熊本県下の栄養士の70%以上を、短大専攻科食物栄養専攻の卒業生が占めています。下の表は、専攻科(短期大学食物栄養専攻を除く。)新卒者の管理栄養士国家試験受験者数と合格率です。平成17年までは、管理栄養士養成大学(4年制)の卒業生は6科目が免除されていました(平成18年から免除はなくなります。)が、本学専攻科の数字は免除なしでの数字です。

社会が魅せられる 学び舎を目ざして



尚綱学園理事長
江口 一郎

世界で最も治安が行き届き、安全だと言われてきました我が国で、毎日のように悲惨な事件が起きています。その多くに、若者がかかわっているのです。我が国の若者達は複雑かつ急速な社会の変化に翻弄され、自ら進

校として熊本の地に産声をあげました。尚綱(表を飾ることなく心を磨く)、貞操、敬愛、勤儉、報恩を建学の精神として、太平洋戦争終結後高等女学校に加え中学校、短期大学(昭和二十七年)、大学(昭和五十年)

て然るべきであろうと強く思うのであります。ときに、本学園は百二十年来、喃喃とす営みを通じ豊かな伝統を培い地域社会から厚い信頼を得てきましたが、ともすると伝統に頼りすぎ、学び舎に求めら

むべき道を見い出せないのでは。世の識者達は、人々に心々をとり戻させることのできる、ゆとりある教育の必要性を、声高に説いておられます。尚綱学園は、明治二十二年に我が国では数少ない魁的女学

を設置し、時々の社会に貢献できる心豊かな女性の育成をめざす、総合的女子学園として今日に至っています。これら五つの語句にこめられた精神は、今や我が国の子供達や青少年を教育する上で厳しく再認識され

れる。不断の改革への注力が、とに近年不足がちでありました。ために、社会の急速な少子化、大卒学に対する社会的ニーズあるいは、学齢期に達した青少年の志向やニーズ等への対応がおくれがちとなりました。

我が国の社会の厳しい現状及び今大学に何が求められているかに格段の思いを馳せ、今こそ本学園が掲げる建学の精神に立ち返り、将来の社会に貢献できる謙虚であり聡明であり、なおかつ力強い近代女性の育成を目ざして生まれ変わるべく努力を傾注しつつあります。今春からスタートさせた大学と短期大学の二元化、大学の生活科学部栄養科学科の新設、文学部の文化言語学部への改組、それに短期大学の三学科体制の確立と充実、尚綱学園改革の第一歩であり、今後、中・高等学校の改革に着手すると共に、大学の更なる充実と近代化に鋭意取り組みつつあります。